

## 患者の皆様へ

2019年10月

現在、整形外科では、「早期軟骨病変に対する3次元軟骨定量評価法」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2013年1月1日～2016年12月31日の間に前十字靭帯損傷の治療のためにMRIを撮影した方の情報を2019年研究承認後から2020年3月31日まで利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「早期軟骨病変に対する3次元軟骨定量評価法」
2. 研究の意義・目的 筆者らが考案した T1rho マッピングを用いた3次元再構成評価法を用いて前十字靭帯再建術前後の膝関節における軟骨基質の変化を縦断的に評価し、前十字靭帯再建術が軟骨に及ぼす影響を評価し、膝関節の早期軟骨病変の診断精度を検討します。患者さんの協力によって得られた情報が、将来の変形性膝関節症や膝疾患、軟骨損傷の診療に大変有用な情報になることが期待されます。
3. 研究の方法 年齢・性別・身長・体重・疾患名・可動域・単純X線、臨床評価、MRIの情報を収集し分析します。
4. 個人情報の取り扱いについて 本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、奈良医大 整形外科のネットワークから切り離されたコンピューターを使用して記録された外部記憶媒体で厳重に保管します。
5. 研究組織【研究代表者】 奈良医大 整形外科教室 講師 小川 宗宏
6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。  
研究実施機関 : 奈良医大 整形外科 本件のお問合せ先: 奈良医大 整形外科 医師 小川宗宏 0744-22-3051 内線 2324

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて 掲示を行っています。

## 患者の皆様へ

2019年10月

現在、整形外科では、「前十字靭帯損傷膝における Pivot shift test の定量評価」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2018年9月1日～2023年3月31日の間に前十字靭帯損傷の治療のために Pivot shift test を定量評価した方の情報を 2019年研究承認後から 2023年3月31日まで利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「前十字靭帯損傷膝における Pivot shift test の定量評価」
2. 研究の意義・目的 筆者らが考案した申請者らが開発した 3 軸加速度計を用いて前十字靭帯損傷膝の Pivot shift test を定量評価し、合併損傷した半月板や残存した十字靭帯が加速度に及ぼす影響を検討します。患者さんの協力によって得られた情報が、将来の前十字靭帯損傷の診療に大変有用な情報になることが期待されます。
3. 研究の方法 年齢・性別・身長・体重・疾患名・可動域・単純X線、臨床評価、加速度計を用いて前十字靭帯損傷膝の Pivot shift test を定量評価の情報を収集し分析します。
4. 個人情報の取り扱いについて 本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、奈良医大 整形外科のネットワークから切り離されたコンピューターを使用して記録された外部記憶媒体で厳重に保管します。
5. 研究組織【研究代表者】 奈良医大 整形外科教室 講師 小川 宗宏
6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。  
研究実施機関 : 奈良医大 整形外科 本件のお問合せ先: 奈良医大 整形外科 医師 小川宗宏 0744-22-3051 内線 2324

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて 掲示を行っています。